

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	0177100328		
法人名	株式会社 山一山岸商店		
事業所名	グループホームかわせみ1・2		
所在地	空知郡奈井江町字奈井江161番地 (電話) 0125-65-5811		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月7日	評価確定日	平成20年1月28日

【情報提供票より】(19年9月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 3月 25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~26,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(19,550円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(9月20日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	8	要介護2	7		
要介護3	1	要介護4	0		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 84.5 歳	最低	73 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈井江町立国民健康保険病院・山中歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は運営者の深い思いにより、平成17年に奈井江町の住宅街に開設された。地主の理解と協力を得て提供された土地を活用し、利用者は楽しみながら畑作業に興じている。また、職員は常に利用者の意思を尊重して日々のケアサービスを実践し、利用者自身のペースを保ちながらゆったりと過ごしている。今後も利用者がその人らしく生活し、地域に溶け込んだ暮らしを期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価において課題であった「家族への情報提供」について地域や家族への便りや事業所新聞の発行回数を増やし、また「緊急時の手当て」についても研修実施を検討するなどして、改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員一人ひとりが自己評価を行い、管理者がまとめ全職員で意義を理解し取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者家族・地域住民代表・民生委員等を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所行事や職員採用状況等について報告したり入居判定基準等について協議している。また、そこで出た意見を事業所の運営に反映させ、更なる質の向上に取り組んでいる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情受付簿を活用し、家族が意見・苦情等を伝えやすい工夫をしている。また、苦情等を受けた場合は速やかに対応し、状況や改善報告について玄関内の掲示板に掲載している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、祭りや敬老会等の地域の行事に参加している。また、「蕎麦打ち会」などの事業所の行事に近隣住民や学生が参加するなど、地域との交流が深まりつつある。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域において安心して楽しく暮らしていくことを盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員のネームプレートの裏面に理念が記載されており、職員間で理念を共有している。また、毎朝の申し送り時に理念を復唱し、日々実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、敬老会や祭りなどの地域の行事に参加している。また、「蕎麦打ち大会」などの事業所の行事に近隣住民や学生が多数参加するなど、地域との交流が深まりつつある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一人ひとりが自己評価を行って管理者がまとめており、全職員で意義を理解し取り組んでいる。また、評価結果を真摯に受け止め、改善に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、事業所の活動報告や職員体制・入居判定基準等について協議している。そこで出た意見を事業所の運営に反映させ、更なる質の向上に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月に1度、町の福祉課が中心となった会議が開催され、各事業所の利用者の暮らしぶりや課題等について話し合う機会があり、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶりや健康状態等を毎日記録しており、月に1度家族に送付している。また、事業所便りや事業所新聞も定期的に送付し、利用者の様子を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付簿を作成し、家族が意見・苦情等を伝えやすい工夫をしている。苦情等を受けた場合は1週間以内に状況・対応報告を事業所内に掲示し、速やかに対応している。</p>	○	<p>今後、事業所外でも積極的な意見収集の場を設け、家族の意見をより反映させることが期待される。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動があった場合は、利用者一人ひとりの状態を細かく把握し、関わり合いを多く持つことにより、ダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は段階に応じた内部・外部研修に参加する機会を積極的に設けており、全職員が交替で研修を受講し、ケアサービスの質の向上に努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所との合同研修や相互訪問等を実施してネットワークをつくり、情報交換を行うことによりサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に事業所見学をしてもらったり面談を行い、利用者の意思を確認した上での入居となるよう配慮している。また、入居後もしばらくの間は家族の面会数を増やすなど、利用者が馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備や後片付け・掃除・畑作業・収穫した作物の漬物づくりなど、職員は利用者に教えてもらいながら支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎日のユニット会議で利用者の希望や意向を検討し、アセスメントを重ねて職員間で共有している。また、困難な場合は利用者の表情から汲み取るよう努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の意見を取り入れ、地域でその人らしく暮らし続けるために必要な支援を盛り込んだ介護計画を作成している。また、医師のアドバイスや職員の気付き等をカンファレンスで話し合い、介護計画に反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアサービスの実施状況をユニット会議で検討しながら、3ヶ月に1度の見直しを行っている。また、利用者の要望や状態変化に応じてそのつど見直し、新たな介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の希望に応じて家族の宿泊対応や利用者の外出など、柔軟な支援を行っている。また、認知症の勉強会を開催するなど、地域に還元する取り組みを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関と連携を取り月に2回の往診や、本人・家族が希望する医療機関への受診など、適切な医療を受けられるよう支援している。また、受診後はそのつど家族に結果を報告し、今後の支援体制についての合意を図っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期についての方針を明確にしており、重度化した場合は医療機関への移行支援を行っているが、終末期の対応は行っていない。</p>	○	<p>今後、家族との話し合いを重ね、方針を共有することが期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの生活歴や経験を考慮しながら、誇りを損ねることのないような対応を心がけている。また、書類において個人名をイニシャルで表示するなど、個人情報に関してプライバシーが保たれるよう配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者との会話を大切にして利用者の希望を聞き、一人ひとりのペースを大切にした支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど、利用者の力量に応じて職員とともに行っている。また、会話を楽しみながら利用者と職員と一緒に食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	24時間入浴可能な体制を整え、利用者の希望に応じていつでも入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理・食器洗い・掃除・畑作業など、利用者一人ひとりの楽しみごとや役割の支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・美容院など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。また、外出を嫌がる利用者にも声かけを工夫し、日常的に戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけず、利用者が自由に入り出ることができるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により避難訓練を年に2回実施している。しかし、災害時における対応について全職員が共有するまでには至っていない。	○	今後、災害時に地域住民から協力が得られるよう働きかけるとともに、災害時対応マニュアル等を作成し、緊急時に備えることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を毎日細かくアセスメントシートに記録し、必要な栄養バランス等を確保できるよう支援している。しかし、食事のカロリーを把握するまでには至っていない。	○	今後、定期的に栄養士に献立を確認してもらい、利用者の健康維持に努めることが期待される。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には利用者の作品を飾ったり季節の飾りつけをし、家庭的な雰囲気を有している。また、小上がり等が設置されており、利用者が思い思いの場所で寛げるよう配慮している。光・音にも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせるような空間になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や愛用の品・写真が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。